



生徒会による学校紹介(オンライン)

東中ブロックからは、家庭学習の習慣化を図るための取組として、中学校のテスト期間に合わせた「家庭学習集中週間」の設定や、「家庭学習の手引き」の作成についての発表がありました。また、6年生児童対象の中学校紹介では、事前のアンケートに基づき生徒会が主体となっ

実践発表① 東中学校ブロック

～目指す子供像の実現に向けた取組～

8月10日に、第2回小中一貫教育担当者会を行いました。第一回担当者はオンライン開催でしたので、今年度初めての顔合わせとなりました。冒頭のあいさつでは、城西小の松岡校長先生から、目指す子供像の具現化に向けて、先生方の熱い思いをブランドカリキュラムや教育実践に取り込み、プロセスを大切にしたい取組を充実させてほしいという話がありました。その後、3つのブロックによる実践発表と、ブランドカリキュラムに関する研修を行いました。

第2回小中一貫教育担当者会

ふれあい つながり かわら版

姫路市教育委員会
学校指導課
小中一貫教育・ICT教育推進係
(079)221-2120



て中学校生活や部活動についてわかりやすく紹介することで、中学校入学への不安が減り期待が高まっているとの報告がありました。



地域との交流行事(ふれあいの会)

安富中ブロックからは、地域との交流行事や、ブロック独自の心の教育担当者会など、地域との協働を活かした取組についての紹介がありました。特に心の教育担当者会は、小中担当者だけでなく、子ども園園長、保育士、保健師、スクールカウンセラー、主任児童委員、公民館長、学識経験者など、多様な立場のメンバーで構成され、地域と一体となって子供を育むための支援体制が整えられていました。

実践発表③ 東光中学校ブロック

～評価や改善につながる取組～

東光中ブロックからは、学校、家庭、地域が一体となって子供に資質・能力を育む「みかつきプラン」により、三日月から満月を目指す取組の紹介がありました。3校の教育目標や目指す子供像に「みかつきの力」を取り入れ、プランの柱としてブランドカリキュラムを

実践発表② 安富中学校ブロック

～地域との協働を活かした取組～

安富中ブロックからは、地域との交流行事や、ブロック独自の心の教育担当者会など、地域との協働を活かした取組についての紹介がありました。特に心の教育担当者会は、小中担当者だけでなく、子ども園園長、保育士、保健師、スクールカウンセラー、主任児童委員、公民館長、学識経験者など、多様な立場のメンバーで構成され、地域と一体となって子供を育むための支援体制が整えられていました。

評価項目		質問内容	
みこめろ力	前期	独自	あいさつがしっかりできていますか。
	中期	独自	自分と異なる考えや想いを認めることができていますか。
	後期	独自	自分と異なる考えや想いを認めることができていますか。
かかわろ力	前期	16	授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人とかわつたりする機会
	中期	独自	自分の生活が、地域の方に支えられていることに気づき、感謝していますか
	後期	17	学校や地域でいろいろな人とかわりをもつことは、大切なことだと思いますか
こころ	後期	18	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができますか。
	前期	独自	自分の考えや気持ちを伝え、他の人の思いを聞くことができますか。

市意識調査を活用した指標(東光中ブロック)

作成し、評価指標や研究授業に基づいて毎年見直しを図ることでP D C Aサイクルを確立し、形骸化を防ぐ仕組みが整えられていました。なお、取組の詳細は、11月の小中一貫教育全国サミット(オンライン)でも発表されます。

ブランドカリキュラム研修

～資質・能力に即した単元の配列～



最後に、ブランドカリキュラム作成の演習として仮想ブロックの単元配列を行いました。活発な交流の中で、育みたい資質・能力に即した単元の傾向(算数・数学の図形、道徳の特定の内容項目など)が見えてきたグループもありました。短時間でも配列が進んでいたため、意外とスムーズに配列ができることや、配列の手順など今後の作成の見通しが持てたのではないかと思います。今回の担当者会の内容を参考に、各ブロックのカリキュラムの作成や活用が進むことを期待しています。